

ACコンプレッサー交換時の同時交換品のすすめ！！



ACコンプレッサーの故障修理の際は以下の部品を同時交換しないとトラブルの原因になるよ！！



- ・エキスパンションバルブ
- ・リキッドタンク(ドライヤー)

■装着されていたコンプレッサーがロック(固着)していた場合は必須だよ！！



この前エアコン修理してもらったばかりなのに……また壊れた。



カーエアコンは、クーラーサイクルで構成されています。不具合が発生したら、コンプレッサーだけが悪いと判断されますが、コンプレッサーがなぜ故障したかという原因を取り除かなければ、再度焼きつき、異音の原因となります。

発行No

ワンポイントアドバイス



High Quality | Rebuilt Automotive Parts

テーマ

ACコンプレッサー交換時にレシーバー&ドライヤーキット、エキスパンションバルブ交換を推奨する理由

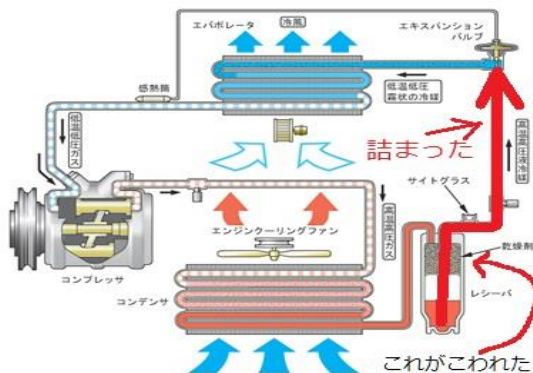
カーエアコンは、クーラーサイクルで構成されています。
不具合が発生したら、コンプレッサーだけが悪いと判断されますが、コンプレッサーがなぜ故障したかという原因を取り除かなければ、再度焼きつき、異音の原因となります。

①レシーバ&ドライヤーの役目

冷媒(クーラーガス)を一時的に貯える他に、冷媒中のガスと液を分離する役目とサイクル内のゴミ(不純物)や水分を取り除く為のストレーナーと乾燥剤が入っています。
コンプレッサーなどから出た、アルミの粉(不純物)を取り除いています。

レシーバ&ドライヤーが故障する主な原因

構造上、すべて(水・不純物)を取りきっている物ではないので、(流れを悪くする為)目が細かい物やすべて取りきれない物はスルーしてエキスパンションバルブ内へ行ってしまい詰まらせる場合もあります。
また、レシーバ・ドライヤーキット内の乾燥剤が内部より漏れて、配管を詰まらせたりエキスパンションバルブを詰まらせたりもします。



乾燥剤が外部へ出ている状態。
乾燥剤が外部へ出てしまい配管・エキパン等を詰まらせる原因になります。

②エキスパンションバルブの役目

高温高圧の液体のエアコンガスを低温低圧の霧状のエアコンガスにします。

エキスパンションバルブが故障する主な原因

高温から低温へ変化する為、もっとも壊れやすい部品の一つです。又、絞り弁が付いている為、レシーバのゴミが詰まりやすい部品。ガス漏れの原因の時もよくあります。
エキスパンションバルブはガスの通路が針のように狭いので、ACコンプレッサーに不具合が起きた時には交換しないと詰まる危険性があります。また、経年劣化で能力が落ちていることもあるので、年数が経っている場合には交換したほうがエアコンの効き具合もかなり良くなります。

【まとめ】

レシーバの中の不純物がエキスパンションバルブに流れ込み、エキスパンションバルブの中にその不純物が挟まりバルブからきっちりとガスを減圧(霧状)する事が出来ないのでエアコンが冷えません。
その他にもガスが漏れなくてもクーラーが効かないという症状は多々ありますが、このレシーバのわるさっぷりというのは半端ではないです。

・自分で溜め込んだゴミを、エキスパンションバルブに放出して詰まらせエアコンが冷えなくなるという事で、

このレシーバ&ドライヤーキットとエキスパンションバルブの同時交換を推奨しています。

※エキスパンションバルブだけを替えても、またすぐにレシーバからゴミが送られて着てしまうので

レシーバ&ドライヤーキットとの同時交換を進めています。

注意)ダイハツ車はドライヤーキット単体で部品供給が無くコンデンサーASSY対応になります。

【参考資料】

■可変式コンプレッサーを交換する場合

リキットタンク(ドライヤ)、エキスパンションバルブは必ず交換してください。

出荷時、コンプレッサーは既定のオイルが注入されておりますので、ホース、エバポレーターの古いオイルをエアブローで除去してください。(オイルが汚れていれば取り外して入念に何度も洗浄してください。汚れが取れない場合、新品に交換してください。)

※オイルが多いと、オイルつまりを起こし、圧縮不良の原因となります。

■装着されていたコンプレッサーがロック(固着)していた場合

リキットタンク(ドライヤ)、エキスパンションバルブは必ず交換してください。

サイクル内に異物が残っている場合もありますので、サイクル内の洗浄も必ず行ってください。

焼き付いた場合は、特に低压側ホース、高压側ホース、パイプ、エバポレーターを入念に洗浄してください。

コンデンサー内のオイルがねずみ色に汚れていたら、コンデンサーの能力が低下し異常高圧になる為、コンデンサーを新品に交換してください。(コンデンサー内の洗浄はできません。)